

- 語り合う
- 生命誌の広場
- 中村桂子の「ちょっと一言」
- ラボ日記
- 表現スタッフ日記
- さまざまな交流
- 生命誌のこれからを考える

## 生命誌の広場

### テーマ別に投稿を読む

- 中村桂子の「ちょっと一言」
- 研究について
- 季刊「生命誌」
- 展示・映像
- その他

あなたの考えをお聞かせください

ご意見はこちらから

### 最新のお返事

- 2019年10月02日  
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月26日  
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月13日  
[原爆について](#)
- 2019年09月05日  
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月28日  
[この夏一番元気だったものは？](#)

### 最新のご意見

- 2019年09月27日  
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月25日  
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月09日  
[原爆について](#)
- 2019年09月05日  
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月23日  
[この夏一番元気だったものは？](#)

### 過去の書き込み

2019年 10月  
GO

### みなさんからのご意見



#### 中村桂子の「ちょっと一言」

#### うまく理解できないエネルギーのこと

投稿日：2015.02.28 ニックネーム：kaipan

エネルギーってどんどんむづかしくなるみたいです。（難しくしているのは、なんだかエライ人たちのような気がします）

私は、エネルギーも地産地消がいいと思っています。田んぼの瀬や、生活用水のような小さな水力発電や地熱や温泉温水や振動発電や、その地域の特性に合わせた。家・ビル・工場単位や、小さな地域毎に必要な規模の発電蓄電システムがあれば、原発をはじめとする大規模発電をしなくていいし、大きな送電線で半分以上もエネルギーロスしながら都会まで運ばなくていい。送電線が山々にニョキニョキしている風景も見なくてすむし。今の大規模発電大規模消費は一部少数の人たちだけのためにあると思いますけど…。甘いでしょうか。

### お返事

投稿日：2015.03.03 名前：中村桂子館長

おしゃる通り自然のエネルギーを活用するなどして地産地消にする生活は、生命誌研究からも出てくる答です。ただ、それを実現するには、現在の東京一極集中を止めて分散型社会（私はこれが先進社会だと思っています）にしなければなりません。今、東京オリンピックのためにこれまで以上の集中が起きているようですね。エネルギーに限らず、これからの生活を考えると分散型へという努力が答だと思っています。

### その他

#### 想像して創り出す楽しみ

投稿日：2015.02.27 ニックネーム：hon no mushi

こちらの手前勝手に非常に閉口されていると思いますが、数学者ガロアの二倍も生きてしまった不肖私の誕生日もすぐなので、想像を含めた戯言と思って受け流してください…昨日の「ファントム…」という話の人物設定の続きです（FAXで画を送っても宜しいのですが、それだと想像力がかき立てられないでしょう…）。

…実は今週、年末年始に投稿した際の、山奥の館の夢をもう一度見ました。一階の百畳はあるうかというカギ型の広間で、立食パーティーのように食事が盛りつけられ（人影はちらほら）、私はそこを離れて3階か4階の一部屋に上っていき、そこで眠っている二人の姉弟と遭遇する…彼らはぼんやりと起き出して、その蒼白い顔つきと牙から吸血鬼の子供とわかるのですが、そんなことはものともせず二人に質問を浴びせかけ、かなり長い時間雑談する、という夢…。人物設定でバイオリン弾きの吸血鬼を出しましたが、誕生日プレゼントかどうかわかりませんが、『絶滅動物（哺乳類？）図鑑』（丸善出版）という、表紙がパラケラテリウムそっくりの動物が描かれている本が置いてあり、思わず開くと、今は見られない沢山の動物の骨格の絵も描かれていて、これから人間の骨を想像したらどんなに楽しいだろうと思い…「骸骨にいさん」をそこから再構成することに決めました。…同時に女の子二人に分け与えられた「目」の力を、かつての生物を復活させる方にも向けられたら…と考え、また、（記憶が定かではないのですが）大剣を振り廻す女の子の漫画があったの



### 新着情報



10月19日生命誌オープンラボ (19.10.01)

10月4、5日 生命誌を考える映画鑑賞会(19.10.01)

昆虫脳の標本展示が登場！(19.10.01)

パラパラめくる生命誌3ダウンロード開始(19.10.01)

あくあびあ芥川とスタンプラリー開催(19.10.01)

を思い出し、主人公の足首から指までの骨格が鹿のように伸びる（＝足が速くなる）という話でしたが、ドラム好きの女の子に同様のちょっとした仕込みをしたら面白いかも、と想いました（例えば、薬剤師ならぬヤクザ医師が、どこかの遺跡から拾ってきたポロボロで二つに折れた古代剣を足首から下にインプラントしてしまい、案外それが十束の剣だったりして…そのせいで薄青の眼をした女の子の神経攻撃が効かなくなったり、また、逃げようと必死になるとそれが伸びて…）



## その他

### 恐るべき、「存在」の真実

投稿日：2015.02.25 ニックネーム：hon no mushi

…先に水遣りのことを申しましたが、日本はやっぱり重厚長大型、いわゆる「戦艦ヤマト」型で、戦後になって米国になびいているだけ…とすると人柱がやっぱり必要で…

…そこから少しそれて、蛇足ながら、別の手段で絵入り楽譜付きでお送りした話の人物設定に当たって、7人出しましたが、初期設定に書き加え…  
まず、背の高い女性は、条件が揃うと、化けます、オオカミに（つまり狼女になります）。…その隣の男性は、名前が浦戸都辺市（うらと つべし）？…愛読書は小野不由美『屍鬼』、バイオリンが弾けて好きな音楽はピバルディ「四季」他…（ピカヴィで表記が迷いますが、外国に住んでいれば正しい発音に慣れた時点で文化の中に組み込まれてしまうので、ここは日本語の慣用で）。メガネちゃんと片方の靴下が長い女の子は、それぞれ片方の眼に仕込みがあって、『はてしない物語』のオウリンというお守りに似た金色の光を目の奥に宿し、それを見てしまうと記憶を失う（抜き取られる…が、それが二人の力の源泉）。そしてその眼は元々その下の小さな女の子のもので、今は抜けた薄青だけれど、それを取り戻すと強力な力を発揮する（これが「離別瑠螺目」の「目」）。もう一人、背の低い女性は、DMCという架空バンドのドラム担当のファンで…

…と、SFのような、空想のようなことを考えていて気付いたことが…全員、その度外れた力を使ってしまうと、物事の理から、その身を大幅に擦り減らすことになる…というのも盛り込まねばならない、ということに…

…現代は、本来は無力の人間の弱い手足が技術によって大幅に拡張されて（それは身障者にとっては助けとなるけれど）、特定の立場の人の一挙手一投足で、下手すれば何千万単位の人が瞬時に地上から淘汰されてしまう、生き物としての人間の常識がきかない時代ですが、その一部のほんの小さな縮図として、上の物語は考えています…例えば、狼になれる女の人が、怪力を持つ二人の女の子を原子力発電所に潜ませて、その鉄拳やスナイパー攻撃で原子炉を破壊させるとか…。狙いは原発の周辺の人間の排除で、食糧となる鹿や猪の確保が目的だったり、人間以前の生態系の回復・確保とその頂点に君臨することだったり…

…とか色々考えてしまいます…



## 中村桂子の「ちょっと一言」

### 「あなたは何を捨てますか、何を残しますか」

投稿日：2015.02.19 ニックネーム：hon no mushi

今、ちょっとラジオをつけたら、バッハのイギリス組曲のト短調の曲がピアノの演奏で流れてきました。それで、ふと、また投稿したくなりました（憚りながら…）

先程、庇の下にある、上下二段に分かれたプランターに水をやっていましたら…

珍しく、上の段のプランターから下に水が滴り落ちてきました。上の段に置いてあるのはサボテンやポトスや松葉ボタンといった乾燥に強い植物で、如雨露などで水を遣るときは、下に零れない位にしているので（水受けは殆ど無し）、ちょっとハッとしました。（ホースで水を遣るときは、目一杯かけるので、かけている水なのか零れている水なのかわかりにくい…）

そこで思ったのが、今のような、太平洋戦争後より格差がはっきりしてきている状態というのは、この二段構え（でなくても何段か）の金属フレームで出来た鉢置きが一番上にあるプランターが、資本によって外側にどんどん大きくされて、その中に水を吸い寄せ土をどんどん投げ込んでいる状況で、その土は、下段にあって水の潤れて枯死した鉢から、それを処理（ここでお金をかけ）した土を集めてきているのではないか、ということです。はっきりとは言い切れませんが…。そしてそのような状況が続くと、どんなに水を、上の段の鉢に底

から滴る程度に予測して効率的・人工的に撒いても、土の量が増える方が速く、下の方には行き渡らない、上の方だけ植物が育って＝利益・利潤が出て、それをまた土の回収に回す、といったような悪循環が…

もしその場合、国のやることとしては、鉢の大きさの規制や水遣りの工夫を制度づけるといったことでしょうか、自分の国の骨格たるフレームをバラバラに分解して、上下の区別をなくしたり、天の気まぐれな雨の恩恵を平等に受けるために（もちろん水切れも含めて）鉢のまま野地にさらしたり…といったことは相当な革命でも起こるか、外部からの干渉でも起こらないと…江戸→明治、昭和の戦争みたいな…

…それにもまして、国を担う人の意識がどうなっているか知りたいところで…次の世代に何を残すのか…人か、物か、金か、技術か、文化…科学か？…



## 中村桂子の「ちょっと一言」

### 世界の言語体系

投稿日：2015.02.18 ニックネーム：弥勒魁

世界の言語は屈折語（サンスクリット・ギリシャ・ラテン・アラビア）、膠着語（日本・ハングル・モンゴル）、孤立語（中国）、その他に分けられ、語系が違えば、真の意味での翻訳は不可能になるようです。したがって、日本では、福沢諭吉先生のお蔭で日本語で世界のすべての情報にアクセスできる、などと言っている場合ではなく、一人ひとりが屈折語と孤立語を身に着けて、真の情報収集に励まないと、世界の中で生きてゆけないと思うべきではないかと思うのですが如何でしょうか？母国語以外にマスターすべき言語が1つだけだと母国語との間に葛藤が起って虻蜂取らずになるそうですが、母国語以外が2か国語以上なら、そういうことはないそうですから。

### お返事

投稿日：2015.02.18 名前：中村桂子館長

すべての言語が一応は翻訳可能であることから人間の言語というものに共通性があることは確かですね。一方、言語一つ一つに文化としての特性があり、考える時に用いる言語によって考え方が変わることも確かです。本当の意味での翻訳はできないのかもしれませんが、多言語社会で育った人は新しい言語を難なく受け入れているようで羨ましい限りです。ただ、日本という島国で独自の言語をもつ社会で育ったからと言って、またたくさんの言語を身につけていないからと言って世界の中で生きていけないとは言えないと思っています。相手を理解する気持を持ち、想像力をはたらかせ、柔軟に、そしてこちらからも積極的に発信する生き方をする事だと思っております。



## 中村桂子の「ちょっと一言」

### 'trickle'の意味合いと格差

投稿日：2015.02.16 名前：足立隼

trickleは上から滴り落ちるという感じなので、富の分配を表現すると確かにあまり宜しくない感じですね。おこぼれ金とか訳すとダメな感じですね。今は昔よりは英語が普及したとは言っても、大多数の日本人の方々にとってはまだまだ英語で考えるのは難しいので、明治の頃のように東アジア全体でも通用するような上手い訳語を作っていくことも大切かも知れません。トリクルダウンは今の日本では起こっていないという話ですが、そもそも所得分布は対数正規分布で表せるので、対数的な部分はエントロピーの概念が当て嵌まりそうです。格差のない均一な一様分布からの距離が相対的エントロピーの増大に依って放っておけば自然に格差が増大していくというイメージです。だから古代社会は凄まじい格差がありましたし、近代になって絶対主義が貴族と中産階級の平等化政策をとってようやく格差が縮まり出した歴史的な経緯があるくらい、資金的・文化的格差の是正に依る機会の平等化は本来は国が率先的に行っていないとどうにもならなくなる筈のものだと思います。ピケティさんは戦争のショックで格差が大幅に是正されたとしていますが、もっと平和的な方法について、今一度立ち止まってよく考える必要があると思います。体感的には純粋に能力だけで格差が産まれているようにも思えないので。

### お返事

投稿日：2015.02.17 名前：中村桂子館長

いろいろお教えいただきありがとうございます。なるほど、エントロピーですか。人によって生き方は違ってよいはずで、のんびりした時間の方が欲し

いということもあるでしょうから何もお金だけについてめくじら立てて言うつもりはありません。ただ、必要以上のお金や権力が集中するようなシステムがあり、それを手にした人がそうでない人に思いを致さない社会は好きじゃないと思うのです。

## その他

### ヒトとチンパンジーはどこで分かれたか

投稿日：2015.02.10 名前：三好政子

「著名人が語るく考えるヒント」8を拝読いたしました。文中、800万年ぐらい前にアフリカ北東で地殻変動があり、それによって、ヒトとチンパンジーが分かれたよだという説が載っていますが、この説について、書かれた本はありますか。教えていただけませんか？

## お返事

投稿日：2015.02.17 名前：表現セクター 川名

ご質問の箇所は、フランスの人類学者イブ・コパンスが唱えた「イーストサイド物語」と呼ばれる仮説かと思いますが、現在では定説ではないとされています。季刊「生命誌」68号（2010年発行）では人類学者の諏訪元先生と中村館長の対談「化石が語る人類の始まり」を掲載していますので是非お読みいただければと思います。

季刊「生命誌」68号 トーク-対話を通して

[http://www.brh.co.jp/seimeishi/journal/068/talk\\_index.html](http://www.brh.co.jp/seimeishi/journal/068/talk_index.html)

## その他

### とりあえず、カノン

投稿日：2015.02.10 ニックネーム：hon no mushi

昨日、また話らないものをお送りし、ご迷惑おかけしてしまい…さらにそれに輪をかけるようになってしまっていますが、追伸となります…

…「奇しい瑠璃の絵」と名付けた曲の、冒頭の4小節を申し上げましたが、それを一フレーズとしてまとめて考えてみました。…まずお送りしたのは最初のバスパートですが、その4小節目の最後の全音符の3拍目から（つまり2拍休んで）、オクターブが上の同じ音でアルトパートが重なるように入るようにします。…カノンです。そしてバスパートはそのまま休みなく繰り返し（アルトから2拍遅れて）2巡目に入ります。…そして、アルトの1巡目の最後の全音符を伸ばし切る前に、同じ要領で今度はテノールパートが、バスの1オクターブ上の音で、アルトの2巡目に先行して入ります（バスはテノールから4拍遅れて3巡目に）。…同様に、最後のソプラノパートが、テノールの2巡目の前に、アルトの1オクターブ上で入り…

…というのを夢想してみたのですが…この時点でどんな音の響きになるのか知りたいです（音符を打ち込めば作曲が出来て、全部の音が聞こえてくるソフトが欲しい）…悔しいけれど確かめられません（情けない）…

…あと、上の曲は、この段階では各パートに対してそれほど高音は入っていませんが、更に高い音を入れた曲が、この後に登場するかどうかは…例えば「離別瑠璃目（リベラメ）」というようなものが、最終章あたり？に出てくるかどうかは、物語次第ですし…分かりません…。それに音楽の知識は今ほとんど無いですし…

…本当に御免なさい、この場を煩わせてしまって…。お詫び申し上げます。

## その他

### 生き方・生き物の真相を見失うと

投稿日：2015.02.08 ニックネーム：hon no mushi

…憚りながら、先にお送りした訂正入りの文書について…2曲目は、メロディーを1小節、2小節…と右にスライドさせながら、そのスライドさせたものに装飾音やら少しづつ工夫を凝らして微妙に変え、元のラインに加えて演奏していくと、もっと愉快的曲になるのかな、と思ったりしました、弦楽器に限らず…（これは書き忘れましたが、どちらも10分から20分くらいの長さを想

定しています。一曲目はさらに別の旋律を加えながら、短3度、5度…と加えていくと申しましたが、1度ずつ上にずらしながら別のメロディーに変えつつ歌い込んでいくのも面白いかと…だいたい8声部くらいで…。二曲目はモーツァルト（しかもグロリア風）の無敵の八長調なので、書き出せば流れに乗せて一気に書き終わる感じかと…ジュピターのように楽しく生き生きと展開させて…)

…そして、先程まで、録画して溜まっていた映画の中の『実録 連合赤軍』を観ていたのですが（まだ見終わっていないです。なかなか見る時間は取れないので見終わるのはいつになるか分からないけど）、その余韻のせいか、本を手にとっても活字が目に入ってこないのです…静かな映画で…多分、あれを初めて観て驚いたのは、当の、演じていた俳優達だったろう、と思われませんが…

「気持ちが悪い」

の一言に尽きます。しんしんと、ジワジワ締め上げてくる怖さ…「ソーカツ」とかなんか、エラそうな言葉を、理性的な口調で繰り返すのですが、同じような言葉を何回も何回も聞いていると、ものすごく、ものすご〜く、空虚に聞こえてきます。イスラム国や世界に溢れている暴力組織も、内部はあんな感じなのかと思いました。

…生き方を間違えると、いいかげんな死に方しかできない…と強く感じました…



## 中村桂子の「ちょっと一言」

### 生物って楽しい

投稿日：2015.02.05 ニックネーム：マドリガル

66才の主婦です。

ネットサーフィンをしていてここに辿りつきました。  
戦争の多い今の世の中、人類の未来についてとても憂えています。

生物としての人間を考えると、とてもたいせつですね。  
そして昔では教えられなかった生物と哲学との結びつきがとても新鮮です。  
無学な私でも楽しく読むことができました。

### お返事

投稿日：2015.02.05 名前：中村桂子館長

ありがとうございます。新しい方が入ってきて下さるのはとてもありがたいです。いのちが大事と言いながら実際にはそうではない社会ですね。いのちを考えるとところから出発したいと思っていますので、これからも日常感じていらっしゃることを書き込んで下さい。



## 中村桂子の「ちょっと一言」

### うごくとはたらく

投稿日：2015.02.05 名前：石橋教行

漢字の話が出ましたので、少し調べたことを報告します。「はたらく」の方は文献に出ている例が比較的新しく、12世紀の保元物語からのようで、その際の意味は体を動かすと言うもので、使われている漢字も「動」でした。「働」の漢字があらわれるのは方丈記あたりからで、13世紀のはじめ、このあたりから、「労働する」という意味での用法も始まったようです。他方、「動く」の方は8世紀の文献から見つかります。移動する、という意味から始まり、体を揺する、動かすというように広がってきたようです。ここから見ると、移動する、次に、体を動かす、という意味になり、それが、仕事をするという意味で働くという意味につながったものと思います。それでいつからか、人偏をつける習慣が生じたのではないのでしょうか。「国字」というものは、漢字の成り立ちをぶち壊して、意味と音ではなく、意味と意味の組み合わせにしながら、同時に音も使うというアクロバットをしています。日本的ないい加減さだと思います。ここで考えるべきは漢字ではなくAutomaticという意味に、この「自動」をあてて使ったことから、「動」という漢字が別の意義を持つに至ったことの問題ではないのでしょうか。なお、「はたらく」はたぶん複合語だろうと推測しますが語源は分かりません。「はた」つまり織機が関係しているものと思います。

### お返事

投稿日：2015.02.05 名前：中村桂子館長

ありがとうございます。

言葉、文字に関心をお持ちの方が多く、楽しくなっています。本格的に考えようとするとも難しい課題ですが、遊びの気持もこめて言葉・文字について考えるのはよいことだと思うのです。日本人にいい加減なところがあるのは、自分自身を見てよく分かりますが、一方、古典を読む形で文字を残しているのは、日本のよいところですね。

「はたらく」については、「端を楽にするのだ」と聞かされたことがあります。もちろん、学問的なこととは別に。落語のオチなどもそうですが、言葉遊びは面白いので、またいろいろお教え下さい。



## その他

### 紙工作について

投稿日：2015.02.03 名前：長谷川源治

研究室の川名様のお話で紙工作のワークショップを知りました。「タラバガニとズワイガニ」「ハリネズミとテンレッサ」これの紙工作がどの様なものなのか知りたいのですが。購入したいと思しますので送っていただけませんか。購入方法、お支払い方法などよろしく願いいたします。

### お返事

投稿日：2015.02.06 名前：表現セクター 川名沙羅

研究館グッズに興味をもってください大変うれしく思います。ホームページの「[研究館グッズ](#)」コーナーにて通信販売を行っており、お支払い方法は、代引きか銀行振込をお選びいただけます。詳しくは[ご利用ガイド](#)をごらんください。お手元に届きましたら、またご意見、感想などお寄せいただくと嬉しいです。

研究館グッズURL：<http://www.brh.co.jp/exhibition/goods/>  
ご利用ガイド

URL:<http://www.brh.co.jp/exhibition/goods/orderguide.html>



## 中村桂子の「ちょっと一言」

### 日本語と欧米の言語

投稿日：2015.02.02 名前：足立隼

今回の話題は日本語のうち漢字の同音異義語での文脈の発展を見たものですね。科学論文に対応させれば、結果は機械的に生み出される「動」、イントロや考察は人の解釈が入って来るので「働」ですね。漢字は表意文字の組合わせで一つの文字を作るので、表音文字による単語の連なりと違って文脈を一つの文字内に含めてさらに文字の並びにより文脈を発展させ、網の目状の文脈のハブをなすことが出来ると思います。日本語の場合ハブは漢字、助詞・動詞・形容詞などのリンクは主に大和言葉です。日本語本来の瑞々しさを残した形で複雑なネットワークが構成できるようで、面白いですね。インド＝ヨーロッパ系の言語の場合、ドイツ語は冠詞や前置詞の豊富なバリエーションと換骨奪胎によるロジカルな表現、フランス語は時制を大切にしたきめ細かさ、ロシア語は活用の豊富なバリエーションによる言葉の繋がり可視化で多層化した文脈を表現、英語はそのどれよりもシンプルで歴史上だけでなく実用上も公用語として使いやすい、というように言語に依って特徴があるような気がします。言語学の専門家の方から見れば一笑に付されるかも知れない他愛もない解釈ですが、何に重きを置くかというそれぞれの文化を大切にした上で、目的に合わせて違った言語で考えるのも一興かなとは思っています。私が実際のところある程度運用出来るのは日本語英語だけですので、本当にマルチリンガルの方の考えもお聞きしたいですが。

### お返事

投稿日：2015.02.03 名前：中村桂子館長

言葉は面白いですね。それに加えて日本語の場合、漢字というものがあるので、しろうとなり楽しめるいろいろな場面があるわけで、言語学という難しい話は別にしてこれからも楽しみたいと思います。弥勒魁さんのところで書きましたが、国字ということで働は日本人の思いの入った文字のような気がしてきました。また御意見お願いします。



## ちょっと変な話ですが

投稿日：2015.02.02 名前：かも

この頃思うのですが、自然界に、余剰の有機物って無いんじゃないでしょうか。もし余剰があるとすれば、例えば原生林には、分厚い落ち葉が数十メートルにも亘って堆積していなければならず、どこかに、常に蓄積がなければならぬはずなのに、地球上で、そんなものが見られるのは、極地の永久凍土帯だけです。

つまり、自然界では、毎年生産される有意物は、必ず、1年で消費されてしまう。或いは、地域性があつたとしても、そのストックはほんの数分しかないのではないかと考えたわけです。

そう考えると、バイオマスというのは、本来自然界の取り分で、多様な生物が消費していた有機物を、人間が横取りして燃やすというショートカットを強制してしまっている。

これでは自然は痩せてしまう。ナイル文明やチグリス文明や、黄土文明が滅びたのも、自然林を燃料にして切り倒してしまったからと言われています。

実は自然界には、誰も利用できなかった有機物があります。それが化石燃料です。

或いは、メタンガスです。メタンガスは、自然界で毎日普通に生産されていますが、どんな生物も利用していません。

それを燃やして、炭酸ガスを作れば、植物の光合成に必要な必須元素になります。

石炭も、露天掘りの鉱床では、燃やさなければ、自然に酸化して炭酸ガスになってしまいます。

つまり、化石燃料こそ人類が使うことを許された資源なのではないかと考えた次第です。

原子力は勿論駄目です。何故なら、放射線は究極の変異原性を持っているからです。

そんなわけで、人類はもっと化石燃料を使うことに自信を持って良いのではないかと考えました。温暖化？

大丈夫です。燃料電池を使えば、化石燃料の使用量を半分に出来ます。

もう完成していますよ。エネファームです。

## お返事

投稿日：2015.02.03 名前：中村桂子館長

バイオマスは大型でなく、地域地域で用いる（以前は薪で暮らしていたのですから）ものなのではないでしょうか。とても小さな小さな話では我が家はいわゆる空調機での暖房はまったくしていません。掘りごたつが一番活躍

（これは東京電力の電気ですからいろいろ）お客様の時は暖炉で溜った落ち葉や木、大工さんが分けてくれる廃材を燃します。これには焼芋もできるといふ付録があります。マンションではなくこれができる暮らし方を選んだのですがある意味恵まれていると思っています。化石燃料は有用ですし、大事に使っていくことだと思えます。エネルギーの問題は難しいですが、要は現代社会があまりにも大型化し、大量のエネルギーを消費するシステムになっているところを見直し適材適所、一人一人が自分の生き方を探ることだと思っています。



## 「働」は国字？

投稿日：2015.02.02 ニックネーム：弥勒魁

Oxford University Press 2003年発行の「牛津精選英漢・漢英詞典」によると、動詞としてのworkの中国語は

1. 工作, 労働, zuo4: 2. 運転, 活動, 起作用: 3. 有預期的効果(或作用): 4. 使工作, 開動: 5. 管理, 経営: 6. 耕(地)。

となっていて、「働」の字はありません。

鐘ヶ江信光編「中国語辞典」大學書林1961.04.01.発行にも「働」の字はありません。この字は国字でしょうか？誰が何時、決めたのでしょうか？

## お返事

投稿日：2015.02.03 名前：中村桂子館長

「働は国字でしょうか」という問いはなるほど面白いと思いましたが、漢字についての知識がなくわからなかったのでインターネットで見ってみました。

たくさん記事があり、「働」は国字と出ていました。しかも、私も知っているような峠、辻、畑などの訓だけで音がない国字と違って、「働」は「どう」という音のある珍しい例とも書いてありました。こうなると、いつ、どのようにして生れたのかと知りたくなりますが、そこまでは書いてないのです。どなたか教えて下さるとありがたいのですけれど。



## 中村桂子の「ちょっと一言」

### 再：絵柄も載せて頂けたら、おもしろいなと考えます

投稿日：2015.02.02 ニックネーム：hon no mushi

昨日は変な画をお送りしてご迷惑でしたらう、と恥ずかしく思っております  
(デッサンの狂いもあって) …しかし更に…厚かましくも藤枝さんの本から引用を…

…ある男が旅に出て空家に寝たところ夜半に鬼が一人の死人を担いではいつてきた。そこへ別の一匹の鬼が追いかけてきて「この死人はおれのものだ…(と取り合いになり、寝ていた男にけしかけたところ、前の鬼のものと答え) 後の鬼は大いにいかって男の腕をつかんで引き抜いて地に投げつけた。すると前の鬼が死人の腕を引き抜いてこの男の肩に撫でつけて活着させた。このようにして脚も胴も腹も頭もすべてが入れ替ってしまった。そして二匹の鬼はとり替えた男の死骸を食べて家を立ち去った。男が思うに「父母から生まれた身体が目のまえで食いつくされて消えたのを私は見た。今の身体は他人の身体である。どちらが自分であるのかわからない。私は在るのかないのか。在ると思えばことごとく他の身体であるが、しかしないと考えても現に今私は在る」…(翌朝昨夜の出来事を物語ると) 比丘が答えて「人間の身体は地水風火の四元がうまく蒐まってできあがっているだけで、自分ではそれを我だと思っているに過ぎない。何も昨夜の出来事によって無我になったわけではない。恒に無我…」  
…Kは…前立腺癌であることを識ると、かねて考えていた延命の人体実験を自らに試みて…調べてもらうことを弟子たちに依頼したのである。この癌が老年に限り、女性に発生しないという事実を基盤におき、若返り薬として中国で古く用いられた処女の唾液や経血からヒントを得て創製した唾液腺ホルモン剤パロチンを自分に注射し、まず睾丸を摘出しておいて反対の女性ホルモンの大量服用をつづけたのであった…  
…私はKの方法を踏襲することによって単性にして両性を兼ねるという経験ができないであろうか。私が満たされぬ慾望に苦しみながら憧憬し…時には不可解と諦めて同情もしてきた女性の心理が、たとえ不完全であり人工的であってもいいから私の体内に「細胞の動き」として浸透し、その必然性をもって私を動かすという機会を、私は是非得たいのである。そうなった私も私以外のものではない…

▲ ページの先頭へ

サイトのご利用について | プライバシーポリシー | サイトマップ | アイアポリシー | サイトマップ



JT生命誌研究館  
〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1 TEL:072-681-9750 (代) FAX:072-681-9743

copyright © JT Biohistory Research Hall 2012.